

## 日行連賀詞交歓会

平成27年 日本行政書士会連合会・日本行政書士政治連盟  
新年賀詞交歓会

日本行政書士会連合会と日本行政書士政治連盟の共催による新年賀詞交換会、1月16日正午より、ANAインターコンチネンタルホテル東京にて開催されました。茨城会からは國井会長をはじめとして、14名で参加しました。当日は、600名を超える方々が全国の単位会を代表して参加され、熱気に満ちておりました。

新年賀詞交歓会は、北山日行連会長や中西日政連会長からの挨拶の後、高市早苗総務大臣をはじめとしたご来賓の方々からは、新年の挨拶とともに、昨年国会にて成立した行政不服申立て代理権に係る特定行政書士の活用について多くの期待の声をいただきました。このような期待に応えるべく、我々としては今後の研修等を通じた自己研鑽が必要であると感じました。

新年賀詞交歓会終了後は、衆議院・参議院の議員会館にある、茨城県内から選出されている国会議員の方々の部屋を中心に、個別でご挨拶に伺いました。どの部屋でも我々の突然の訪問に関わらず、丁寧にご対応いただきました。

私個人としては、新年賀詞交歓会への参加や、議員会館への訪問が初めての経験であったため、非常に勉強になったとともに、国会議員をはじめとした多くの皆様の行政書士制度への信頼や期待等を肌で感じられる良い機会となりました。

(国際部長 松田秀幸)



議員会館訪問(梶山代議士を囲んで)



会場にて記念撮影

# 関東地方協議会総務・広報担当者会議

**日時** 平成27年2月23日(月) 午後2時～4時30分

**場所** 日本行政書士会連合会 会議室

## ●総務担当者会議

**出席者** 東京会 河野基司(総務部長) 神奈川会 桑 智仁(総務部長)  
千葉会 四元平一(副会長) 茨城会 竹内 崇(総務部長)  
栃木会 金敷 裕(総務部長) 埼玉会 木田 亮(総務部長)  
群馬会 亀田恒義(総務部長) 山梨会 村松百年(総務部長)  
静岡県 中山正道(総務委員会 統括部長) 新潟会 金子 昇(総務部長)  
長野会 山崎隆二(会長、関地協会会長)、山本準一(副会長 兼 総務部長)、  
日野芳子(総務副部長)、大日向敏郎(事務局長)

## 議題 1 単位会で取り組んでいる行政書士倫理について

### 各単位会より取組、現状、問題点等の報告

言うまでも無いが、全単位会が大なり小なり問題を抱えているのが現状。

代表的なものは、次のとおり。

- ・会員個人への苦情(特に業務上のトラブル)
- ・職務上請求書の不正使用
- ・会費滞納

この3点は以前から指摘されているものの、なかなか根絶できず全単位会が頭を痛めている。ある意味、根絶は永遠の課題か？

反面、様々な取組により、一定の成果をあげる等、明るい材料が有るのも事実。以下に、先進的な取組を列挙してみたい。

## 議題 2 会員個人への苦情への取組

- ・業務を依頼したのに、全く動いてくれない。
- ・報酬(着手金、中間金)を前払いしたのに、いつまでたっても完了しない。
- ・連絡が取れない。

最も多いのが業務上トラブル(顧客からの苦情)。単に会員の職務怠慢に起因するケースがほとんど。ただし、顧客の勘違いや顧客へ正確な情報が伝わらなかった為、苦情となってしまいうケースもある。

(業務完了まで長期間要するもの、事前説明等が不十分だったことによる見解の相違等々)

前者の場合、当然ながら当該会員を呼び出して注意、指導する。

後者の場合、双方から事情を聴き、誤解を解くことで解決に至るケースも多々ある。

### ○先進的な取組

- ・コンプライアンス研修の徹底(単位会によっては、受講義務化)
- ・新入会員研修の充実化(一泊二日で開催する等)
- ・都庁、県庁担当職員との定期的な意見交換会の開催
- ・苦情処理専門部署(委員会、グループ等)の設置

例)東京会、神奈川会、千葉会、茨城会、静岡県、長野会

### 議題 3 職務上請求書の不正使用への取組

- ・利用目的が不適切（他士業との業際問題に発展することも）
- ・使用枚数が異常に多い
- ・行政書士法の理解不足

他士業との兼業者が行政書士業務ではないにも関わらず行政書士の職務上請求書を使用したり、探偵事務所の代表者を補助者登録し自由に使用させていたり、探偵事務所に高額で転売したり等々。市区町村役場や部落解放同盟（解同）等から警告文書を受領するケースも……。

悪質なケースは言語道断である。気掛かりなのは行政書士法を理解していない会員が行政書士の業務範囲（職域）を知らなかったばかりに不正使用に至っているケースもあることだ。近年、行政書士試験から行政書士法が除外されていることが影響しているのかも。

#### ○先進的な取組

- ・新入会員登録証交付式での意識の徹底化
- ・新入会員研修での行政書士法講義の実施
- ・職務上請求書払出時のチェック強化
- ・職務上請求書払出研修の徹底（単位会によっては、受講義務化）

※一部の単位会では、研修開催を提案したが、会員の権利制限につながる等の反対意見が出た為、開催できないケースも。

### 議題 4 会費滞納への取組

会費滞納に関しては、長野会のように本会、支部も巻き込んだシステムを構築し、成果をあげている例もある（会費納付率99.5%）。

ただし、特効薬が無いのが現状。色々手を打っているが、ほとんどの単位会に相当数の滞納者がいる。

そもそも行政書士法が性善主義的(?)であり、滞納者に生ぬるいのが原因？

会費長期滞納者の強制退会処分が可能となるよう、行政書士法の改正を連合会に要請することで一致した。

※意見交換を通して、単位会ごとの抱えている課題や先進的な取組等を知ることができたので、意義があった。

先進事例で茨城会として取り入れられるものについては、可能な限り取り入れて行くべく、次期総務部にきっちり引継いでいきたい。規程の更なる新設、改正等、課題もあるが。

茨城会も先進会には及ばない部分もあるが、これまでの総務部関係者の努力により、着実に前進している印象はあった。



会議の様子

## ● 広報担当者会議

<b>出席者</b>	東京会 森山 潤(広報部長)	神奈川会 本間孝保(広報部長)
	千葉会 中嶋政彦(広報部長)	茨城会 遠藤 実(広報・監察部長)
	栃木会 田代昌宏(広報部長)	埼玉会 赤坂昌雄(広報部長)
	群馬会 服部成二(広報部長)	山梨会 堀内克一(広報部長)
	静岡会 中里龍彦(広報委員会統括部長)	新潟会 大橋 亨(監察広報部長)
	長野会 林 辰幸(広報部副部長)、東谷龍也(広報部員)	

### 議題 1 各単位会で取り組んでいる広報活動について

#### ① 会報

- ・各単位会とも年4～6回の発行。
- ・紙媒体を今後どうするか、ということが課題になっている様子。電子化もかなり検討されているが、なかなか踏み切れないところも。どちらも一長一短あるようで、今後とも検討が必要。
- ・「会員用」と「一般の方用」と2種類発行している単位会がある。「一般の方用」は平たい文章で、金融機関や商工会などへ配布し、希望のある会員にも渡している。

#### ② HP

- ・単位会によっては、閲覧の9割がスマホ・タブレットから来ているところもある。その単位会は全面的にその対応にする予定だという。

#### ③ グッズ

- ・各単位会とも様々なグッズを工夫して取り組んでいる。トイレットペーパーを製作した例もあり、百貨店にて2日間で1万個を配布したという。
- ・関東地方協議会の単位会同士で共同化し、大量に製作すればコストも抑えられてスケールメリットが出せる。そういう方向性を今後考えても良いのではないか、という意見が出た。

#### ④ その他

- ・「出前講座」「出前広報」という形で、こちらから人のいる所に出て行く、というスタンスでPRをしている単位会がある。高校・大学・ロータリークラブ・老人会などに出張しているようである。
- ・区立図書館とタイアップして「暮らしの講座」を開いている会もある。その単位会では相続・エンディングノートなどの情報発信をしている。
- ・「行政書士フェスタ」を開催し、東北地方支援を考えるパネルディスカッションを行ったり、「木を植えるプロジェクト」に参加して福島県南相馬市に植樹をする計画をしている会もある。

### 議題 2 その他

広報活動にとらわれない形で様々な意見交換を行った。

※単位会とも、それぞれの予算規模の中で懸命に行政書士制度をいかに対外的にPRするか、工夫している様子がうかがえた。

また、茨城会でキャラクター「ユキマサ君」の着ぐるみを購入し、新春交流会でお披露目したことについては、各単位会の担当者とも非常に関心を示していただいた。今後、さらに着ぐるみの購入・使用は増えてくるかもしれない。

いかにPRするかという点においては、一般の方に向けての広報誌をうまく活用していくこと、そして対外的に社会貢献の意味合いを強めて積極的に出ていくことが求められる感じがした。